

### 兵庫革新懇第三〇回世話人総会・決議

昨年八月に行われた総選挙において、長期にわたって国民を苦しめてきた自公政権が退場し、これに変わって民主党を中心にした新しい政府が誕生しました。新政府与党三党・民主党・社民党・国民新党―は「自民党政治を根本から転換」するとして、国民の期待に応えるかのような政策をかがげましたが、発足後、間もないうちにアメリカと財界の圧力に押しされ、なし崩し的に公約違反をかさね、首相や幹事長など最高幹部の金権問題で曖昧な態度をとり続けて、急速に国民の信頼を失っています。

自公政権を葬った国民の力は、平和と国民生活重視の新しい政治を求めており、これに応えられない新政権にかわるあらたな政治への模索がはじまっています。

平和・民主・革新の日本をめざす兵庫革新懇運動は国民が主人公の政治をにかけて奮闘してきました。そして今年三〇周年を迎えました。この運動が新しい政治状況を生み出す力になってきたことは明白であり、この過度的な政治情勢の中で「三つの共同目標」にもとづく明確な政治展望を示していることはきわめて重要です。

今年は夏に参院選挙があり総選挙以後の流れを発展させる重要な政治戦となっています。核廃絶や憲法擁護のたたかい、生活と権利を守る運動を広範な県民と共に発展させ、参院選での革新勢力の前進を勝ち取るよう訴えます。

このような運動を地域・職場から草の根の共同としてひろげるためには、県下のすみずみに革新懇組織を広げていくことが不可欠です。このために平和・民主、豊かな生活実現を願っている県下のすべての皆さんに政治をかえる共同の運動への参加を呼びかけます。革新懇発足三〇周年を迎え、私たちの運動の発展に力をつくすことをあらためて決意しここに決議します。

二〇一〇年二月十四日

第三十回 平和・民主・革新の日本をめざす

兵庫の会世話人総会